

## 東北支部講演会・実施報告（2021.7.10）—ポストコロナ時代の地方移住・就労

谷本 真佑 東北支部総務企画委員／岩手大学

### 1. はじめに

東北支部では、令和3年7月10日（土）に「ポストコロナ時代の地方移住・就労～国土計画からまちづくりまで～」とのテーマのもと、オンライン形式による講演会を実施しました。本会は2部構成で、第1部では近年の移住の動向や東北支部管内での移住・就労に関する取り組み事例についてご講演頂きました。第2部では、コロナ禍を踏まえた地方への移住についてパネルディスカッションを行いました。本会の概要を報告します。

### 2. 第1部：地方移住の現状と取り組み事例

#### 講演1 地方移住の現状について

國學院大學准教授の高和雄先生より、近年の地方移住についてご発表頂きました。「仕事」「住居」「コミュニティ」の3つが移住の課題であることに加え、移住者側と受け入れ側の双方にとって、両者の関係づくりが移住の不安解消に重要とのご指摘を頂きました。

#### 講演2 山形県庄内地方における取り組み

ヤマガタデザイン街づくり推進室の長岡太郎様より、山形県庄内地方で展開している各種事業についてご紹介頂きました。水田に囲まれた宿泊・温浴施設「スイデンテラス」をはじめ、当時庄内地域に存在していなかった学童施設を立ち上げる経緯をご紹介頂きながら、自らが新たな需要を掘り起こす発想の必要性をご講演頂きました。

#### 講演3 ICTを活用した青森県三戸町での取り組み

sannohe yell 代表の五十嵐淳様より、青森県三戸町の魅力を発信しつつ、ビジネスにつなげる活動についてご講演頂きました。コロナ禍でも過去最高の収入となった農業会社との取り組みとして、ICTを活用したクラウドファンディングやネット販売、地元のクリエイターおよび東京のモデルさんとのコラボレーションによる情報発信、海外への販路拡大についてご紹介頂きました。

#### 講演4 移住関連サービスをワンストップで提供する、新潟県湯沢町での取り組み

きら星株式会社代表取締役の伊藤綾様より、新潟県湯沢町における取り組みをご紹介頂きました。湯沢町から受注した移住相談事業を柱に、不動産賃貸、職業紹介など、地方で暮らすためのサポートをワンストップで提供するサービスについてご説明頂きました。また、ペルソナマーケティングの必要性についてもご紹介頂きました。

神社×ハロウィン×ライブの組み合わせの運営資金の一部が青森県教育庁の補助金



図1 神社でのハロウィンとライブの様様（三戸町）

湯沢町での事例 廃校保育園を交流拠点に



図2 廃校保育園の交流拠点化（湯沢町）

### 3. 第2部：パネルディスカッション

コーディネーターの小地沢将之先生（宮城大学准教授）と、ご講演頂いた4名の講師の方々とともに、今後の地方移住の課題や展開について議論が行われました。

新たな生活スタイルや自己実現を求める移住者と、地域の維持を求める受け入れ側とでは、移住に求めるものが異なるとの指摘がありました。また、移住先の居住や地域とのつながり方、移住者の受け入れ体制などが移住の課題として挙げられ、各地での取り組み事例を交えた議論が行われました。何もしないと街がなくなるとの危機感を地域と共有できたこと、都会では求められなかった能力が地方で必要とされたこと、移住者のチャレンジを応援する空気感の重要性について、意見が交わされました。

### 4. おわりに

本会は、東北支部管内・管外から計61名のご参加を頂きました。ご参加頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。